

厚生労働省発表
平成25年10月1日現在

日本における人口動態

— 外国人を含む人口動態統計 —

人口動態統計特殊報告

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係：人口動態・保健統計課 計析第一・二係

電話：03-5253-1111（内線：7470 7472）

厚生労働省ホームページ(URL)：<http://www.mhlw.go.jp/>

目 次

1	はじめに	1
2	結果の概要	3
(1)	出生	3
(2)	死亡	5
(3)	乳児死亡	7
(4)	死産	8
(5)	婚姻	9
(6)	離婚	11
3	統計表	12
第1表	人口動態総覧(実数), 年次別 ー昭和30～平成13年ー	13
第2表	人口動態総覧(率), 年次別 ー昭和30～平成13年ー	15
第3表	人口動態総覧, 都道府県(13大都市再掲)別 ー平成13年ー	16
第4表	死亡数, 性・3大死因・年次別 ー昭和30～平成13年ー	17

表章記号の規約

- ・ 統計項目のあり得ない場合
- 0.0 比率が微小(0.05未満)の場合

1 はじめに

本報告は、日本において発生したすべての人口動態事象について取りまとめたものである。

現在公表されている我が国の人口動態統計の数値は、日本国籍を有する者について日本国内で発生した人口動態事象を集計している。したがって、日本国内において日本国籍を有しない者（外国人）、及び日本国籍を有していても海外で発生した事象は含まれていない。ただ、これらの事象についてもデータの収集は行っており、別途基本的な表が作成・公表されている。

このうち、日本における外国人の事象を、従来からの日本における日本人の人口動態統計に合わせて表示したものが、今回の特殊報告である。

我が国の人口動態調査は、明治32年から近代的な統計調査として確立され、以来100年余にわたって我が国の主要統計の一つとして整備が図られてきた。人口動態調査は、多くの国と同様、人口動態事象の登録、すなわち日本では戸籍法などの規定による各種届出に基づいて作成されている。なお、外国人についても、戸籍法で届出が義務づけられており、人口動態調査の対象となっている。しかし、集計段階では、原則として、日本の戸籍のある者のみを対象としていた。つまり、第二次世界大戦前は、内地における内地人、すなわち、沖縄を含む現在の日本（内地）に在住し、内地に本籍がある者を集計の対象としていた。戦後においても、過去からの経緯、国内の外国人の割合が小さいこと、事象発生の把握の容易性と完全性といったことから、現在のような形での公表となっている。これまでの人口動態調査の観察対象の範囲をまとめたものが表1である。

表1 観察対象の範囲

		出生・死亡	死産	婚姻・離婚
地域範囲	昭和18年以前	沖縄を含む旧内地		
	昭和22～25年	北海道根室支庁の一部、東京都小笠原支庁、島根県竹島、鹿児島県大島郡十島村北緯30度以南、沖縄全県を除く地域		
	昭和26～47年	昭和26年12月5日以降：鹿児島県大島郡十島村北緯29～30度（吐噶喇列島）を含む 昭和28年12月25日以降：同村北緯29度以南（奄美群島）を含む 昭和43年6月26日以降：東京都小笠原村を含む		
	昭和48年以降	沖縄を含む。北海道根室支庁の一部、島根県竹島を除く地域		
観察対象の人的範囲	昭和18年以前	出生者もしくは死亡者の本籍が旧内地にあるもの	母親の本籍が旧内地にあるもの	夫妻双方又は夫妻のいずれか一方の本籍が旧内地にあるもの
	昭和22～57年	出生者もしくは死亡者の本籍が北海道（根室支庁の一部を除く）、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの	母親の本籍が北海道（根室支庁の一部を除く）、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの	夫妻双方又は夫妻のいずれか一方の本籍が北海道（根室支庁の一部を除く）、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの
	昭和58～平成6年	出生者もしくは死亡者の本籍が北海道、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの	母親の本籍が北海道、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの	夫妻双方又は夫妻のいずれか一方の本籍が北海道、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの
	平成7年以降		父親又は母親の本籍が北海道、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの	

一方、特に1990年代から国内に在住する外国人の増加が顕著になってきており、総人口に占める割合も現在では1%を超えている。また、国連の「人口動態統計に関する原則と勧告」によると、原則として、当該国内で発生した事象はすべて集計対象とするようにされており、国際的には国土全体の発生数を取っているところが多い。さらに、外国人の人口動態事象の発生状況は日本人のそれとやや異なっていること等により、今回、外国人を含めた、日本全体での人口動態統計を取りまとめることとした。



なお、人口動態調査は、前述したように戸籍法などによる届出に基づいており、日本における外国人が居住する市区町村に届出するかどうかという問題がある。特に婚姻や離婚については、実態と届出件数との間にかい離があると考えられる。

参考は、本特殊報告及び人口動態統計で主な集計をした範囲についてまとめている。外国における日本人の集計については、届出義務が課せられているが、届出の程度は不明である。また、届出の到着が遅れるため、前年以前の発生として処理される場合も多い。

【参考】集計客体

	日本における日本人	日本における外国人	外国における日本人
出生 ¹⁾	父母ともに日本人 父母の一方が日本人	父母ともに外国人	父母ともに日本人 父母の一方が日本人
死亡	日本人	外国人	日本人
死産 ²⁾	父母ともに日本人 父母の一方が日本人	父母ともに外国人	
婚姻 離婚	夫妻ともに日本人 夫妻の一方が日本人	夫妻ともに外国人	夫妻ともに日本人 夫妻の一方が日本人

注：1) 出生は、昭和60年の国籍法の改正により上記の通りとなった。
昭和59年以前は、母が日本人で父が外国人の場合は外国人扱いであった。
2) 平成6年以前の死産は、母の国籍による。

 : 今回の特殊報告  : 人口動態統計

2 結果の概要

(1) 出生

年次推移をみると、出生数は、「第2次ベビーブーム」期の昭和48年の211万人をピークに減少し、平成13年には118万人と約30年間で93万人減少している。

出生率は、「第2次ベビーブーム」期の昭和48年の19.4以降下降し、平成13年には9.3と約10ポイント低くなっている。(図1、表1)

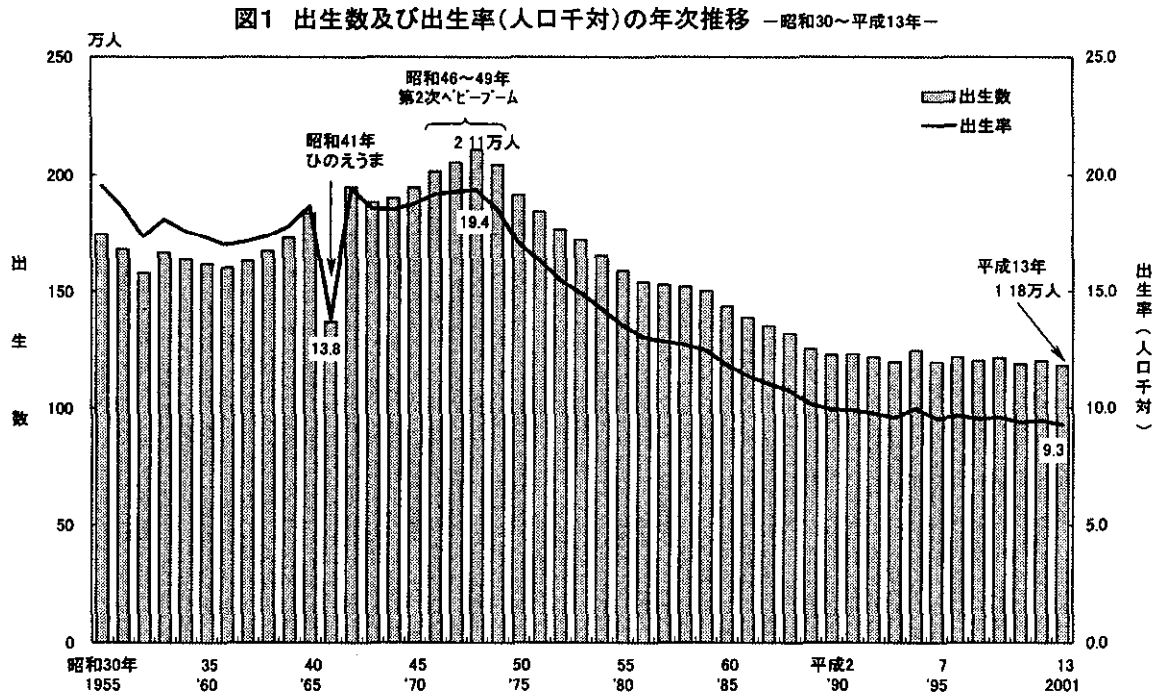
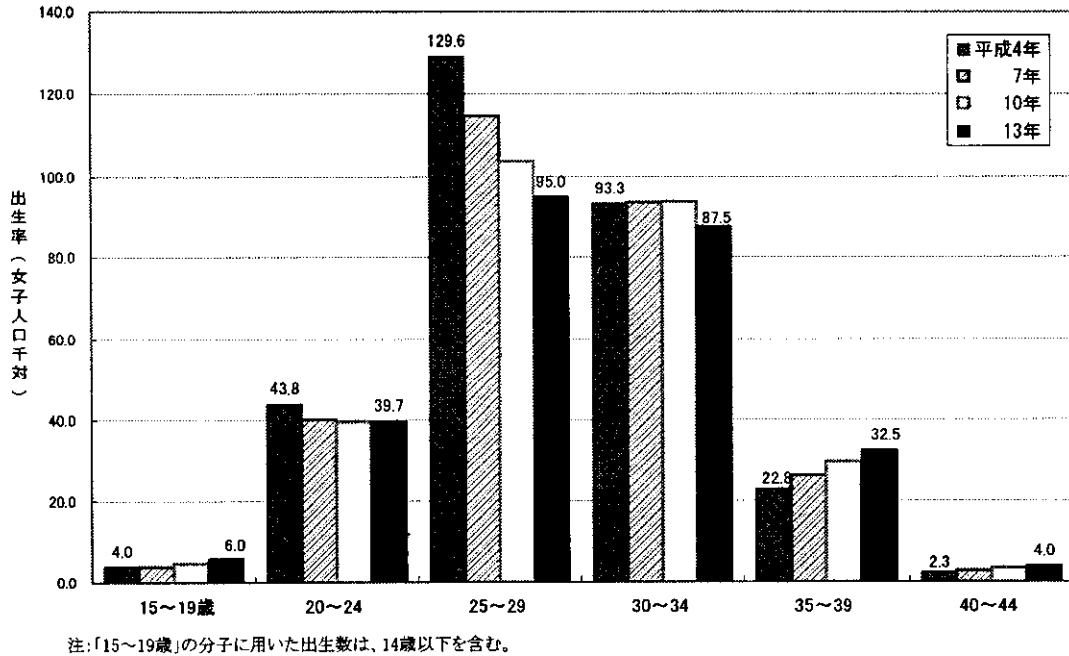


表1 性別にみた出生数及び出生率(人口千対)の年次推移
-昭和30~平成13年-

年次	出生数			出生率
	総数	男	女	
1955 昭和30年	1 746 299	897 797	848 502	19.6
60 35	1 619 175	831 572	787 603	17.3
65 40	1 837 476	942 493	894 983	18.7
70 45	1 947 944	1 007 462	940 482	18.8
75 50	1 914 707	985 995	928 712	17.1
80 55	1 588 632	817 410	771 222	13.6
85 60	1 437 375	738 257	699 118	11.9
90 平成2	1 229 044	630 863	598 181	9.9
95 7	1 197 427	613 907	583 520	9.5
96 8	1 217 925	625 571	592 354	9.7
97 9	1 203 888	617 195	586 693	9.5
98 10	1 215 754	623 867	591 887	9.6
99 11	1 189 774	611 050	578 724	9.4
2000 12	1 202 761	618 374	584 387	9.5
01 13	1 182 499	607 135	575 364	9.3

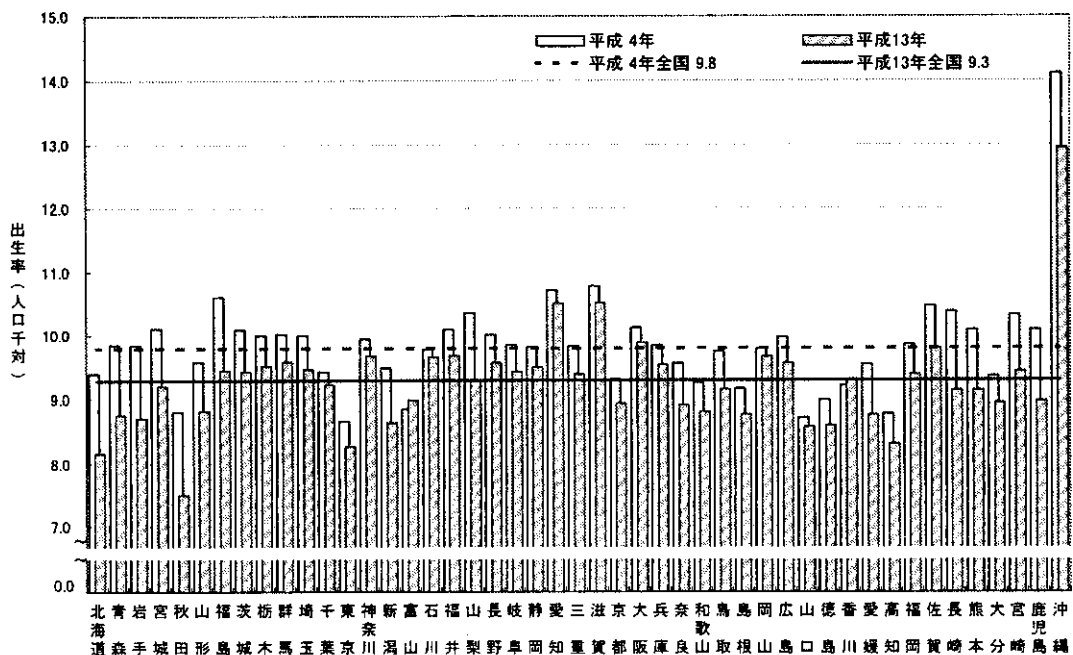
母の年齢階級別に出生率をみると、20～30代前半にかけて低下がみられ、特に「25～29歳」は、平成4年の129.6から13年の95.0と、約10年間で34.6ポイントも大きく低下している。一方、10代と30代後半以降で高くなり、「35～39歳」では9.7ポイント高くなっている。(図2)

図2 母の年齢階級別出生率(女子人口千対)の年次比較 -平成4・7・10・13年-



都道府県別に平成4年と13年の出生率を比較すると、富山県、香川県を除いた全ての都道府県で低下し、全国では0.5ポイント低下している。特に東北・九州地方での低下が目立つ。(図3)

図3 都道府県別出生率(人口千対)の年次比較 -平成4・13年-



(2) 死 亡

年次推移をみると、死亡数は、昭和50年代半ばまで70万人前後で推移し、死亡率は、昭和32年から徐々に低下を続け、昭和54年、57年には6.0と最低を記録した。その後は、人口の高齢化を反映して、増加、上昇傾向にある。(図4、表2)

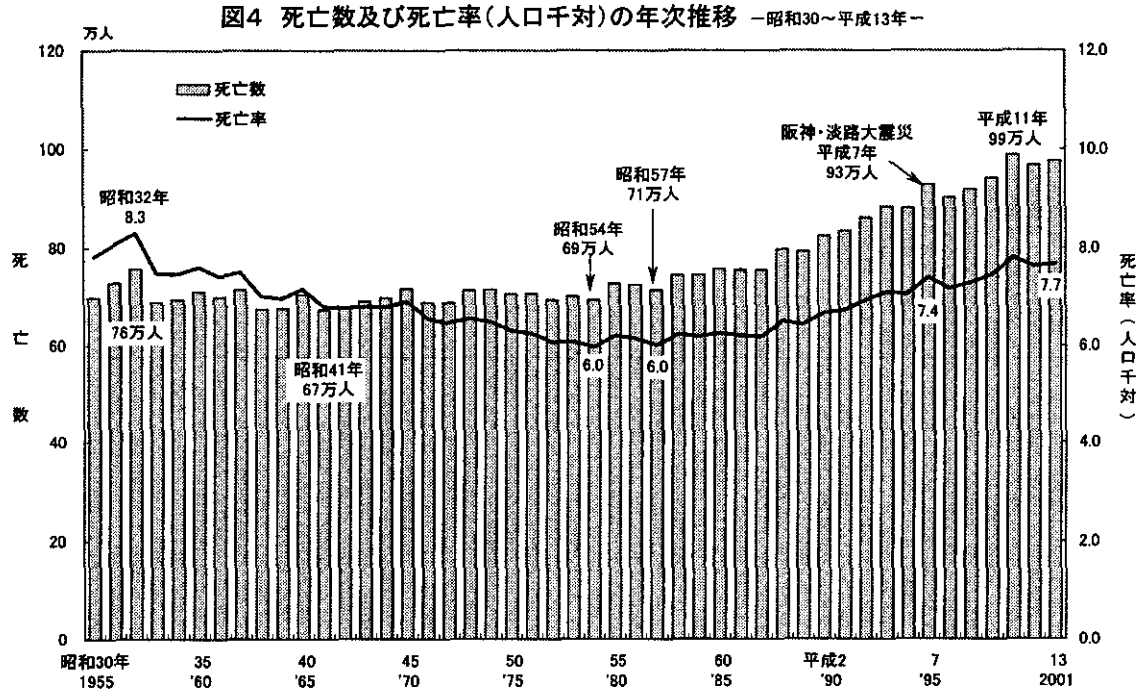


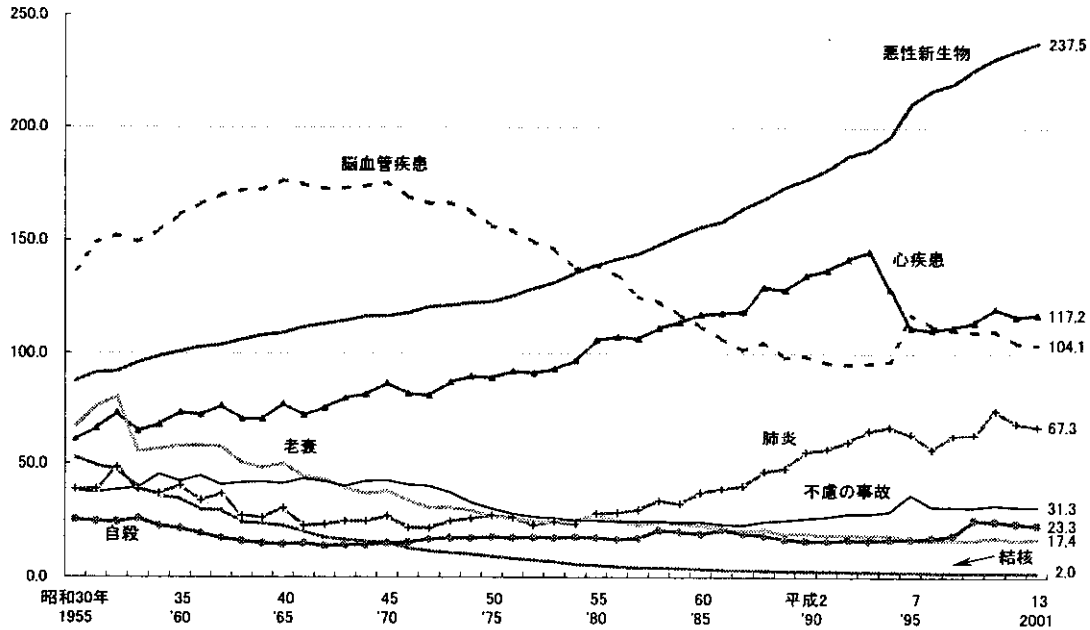
表2 性別にみた死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

-昭和30~平成13年-

年次	死亡数			死亡率
	総数	男	女	
1955 昭和30年	697 398	367 936	329 462	7.8
60 35	710 737	380 535	330 202	7.6
65 40	704 100	381 359	322 741	7.2
70 45	716 643	390 570	326 073	6.9
75 50	705 874	380 355	325 519	6.3
80 55	726 632	393 330	333 302	6.2
85 60	756 440	410 515	345 925	6.2
90 平成2	824 866	446 679	378 187	6.7
95 7	927 709	504 803	422 906	7.4
96 8	901 567	491 995	409 572	7.2
97 9	918 916	501 283	417 633	7.3
98 10	942 059	515 619	426 440	7.4
99 11	987 701	538 308	449 393	7.8
2000 12	967 195	529 314	437 881	7.6
01 13	976 008	532 305	443 703	7.7

主な死因別に死亡率をみると、昭和30年は現在の3大死因である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患に加え、老衰、結核が高かった。悪性新生物は一貫して上昇し続け、昭和56年以降、死因順位第1位となっている。(図5)

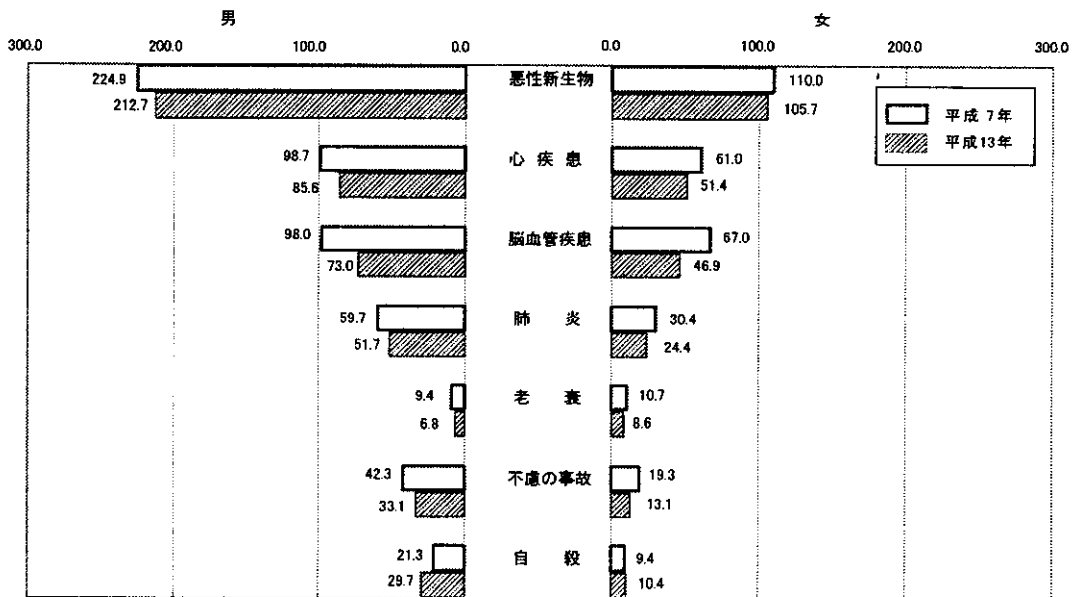
図5 主要死因別死亡率(人口10万対)の年次推移 -昭和30~平成13年-



注:平成7年の心疾患の低下及び脳血管疾患の上昇は、ICD-10の適用と死亡診断書の改正による影響が考えられる。

年齢調整死亡率を男女別にみると、主要死因のほとんどで、女に比べ男は約2倍も高い数値となっている。平成7年と13年を比較すると、男女とも主要死因のほとんどで低くなっているのに対し、自殺は高くなっている。(図6)

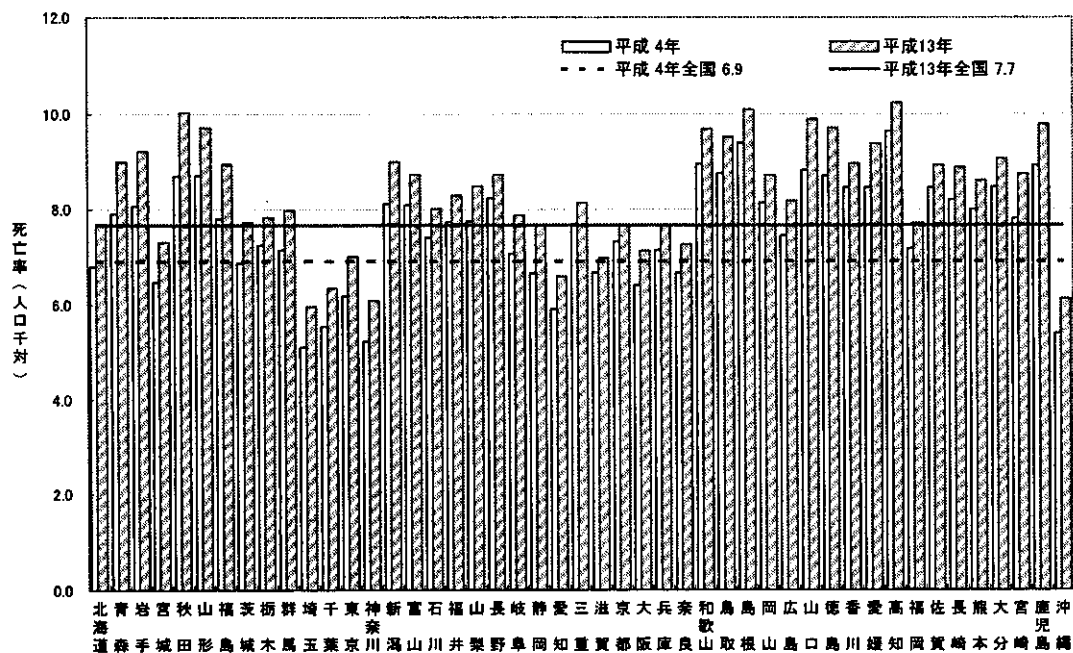
図6 主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)の年次比較 -平成7・13年-



注:年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

都道府県別に平成4年と13年の死亡率を比較すると、全ての都道府県で高くなり、全国では0.8ポイント高くなっている。東北・中国・四国・九州地方では全国値を上回る県が多い。(図7)

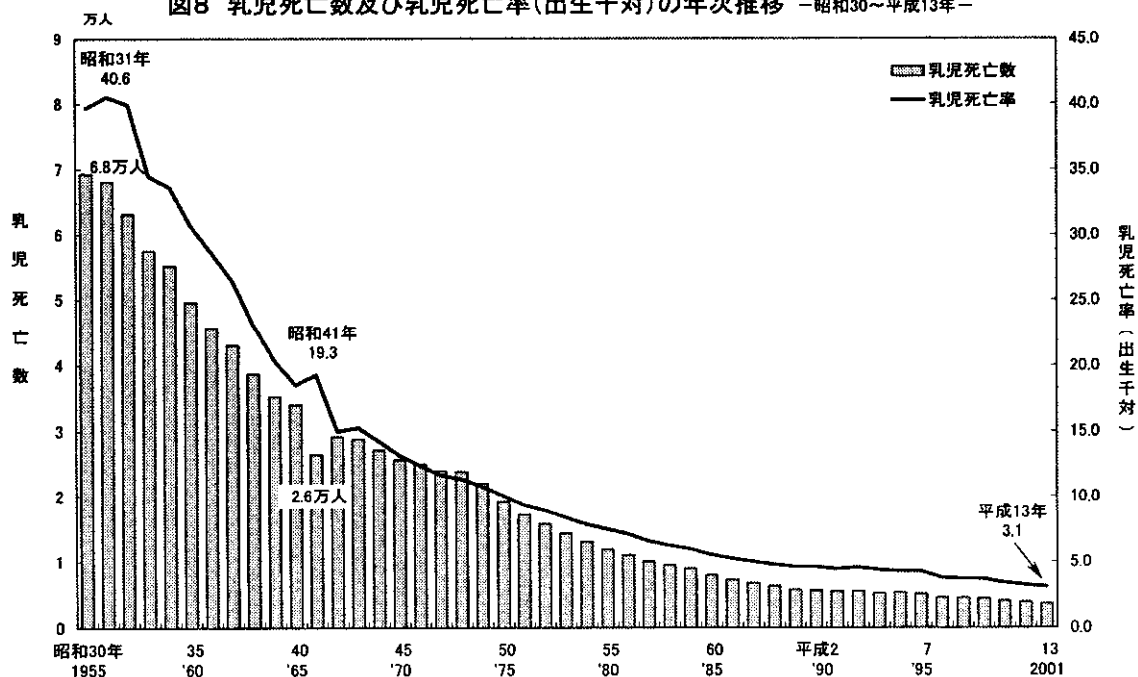
図7 都道府県別死亡率(人口千対)の年次比較 -平成4・13年-



(3) 乳児死亡

年次推移をみると、乳児死亡数及び乳児死亡率ともに、昭和40年代半ばまでは、急激な改善があった。最近はやや緩やかな改善傾向となっている。(図8)

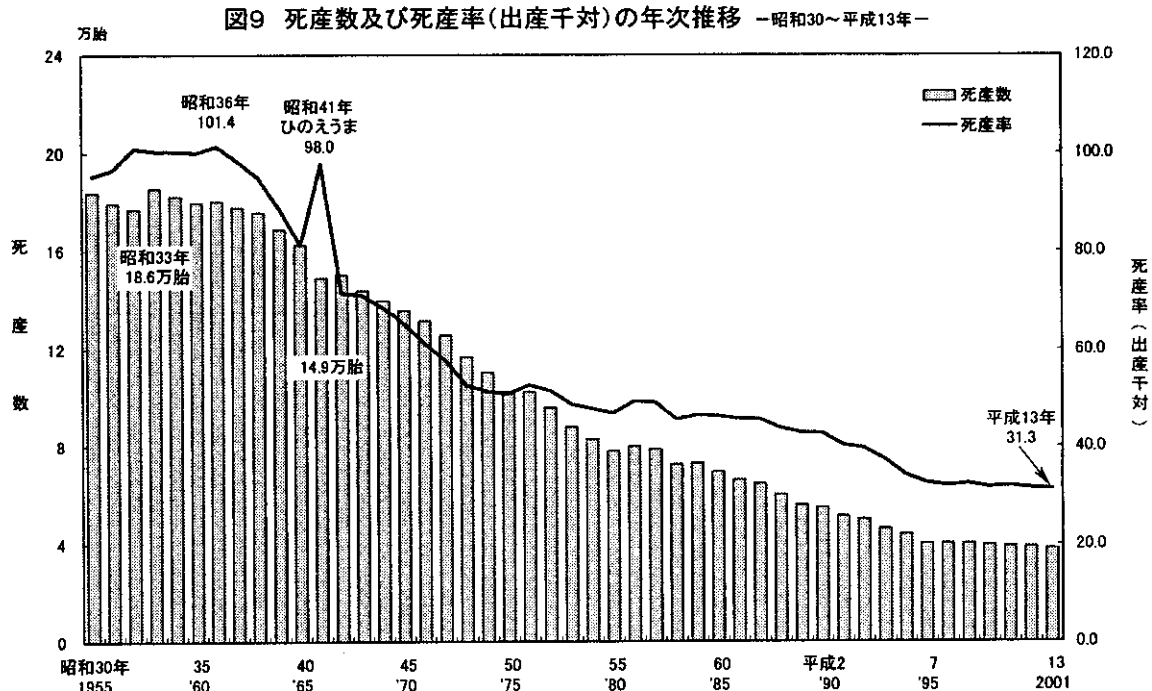
図8 乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)の年次推移 -昭和30~平成13年-



(4) 死産

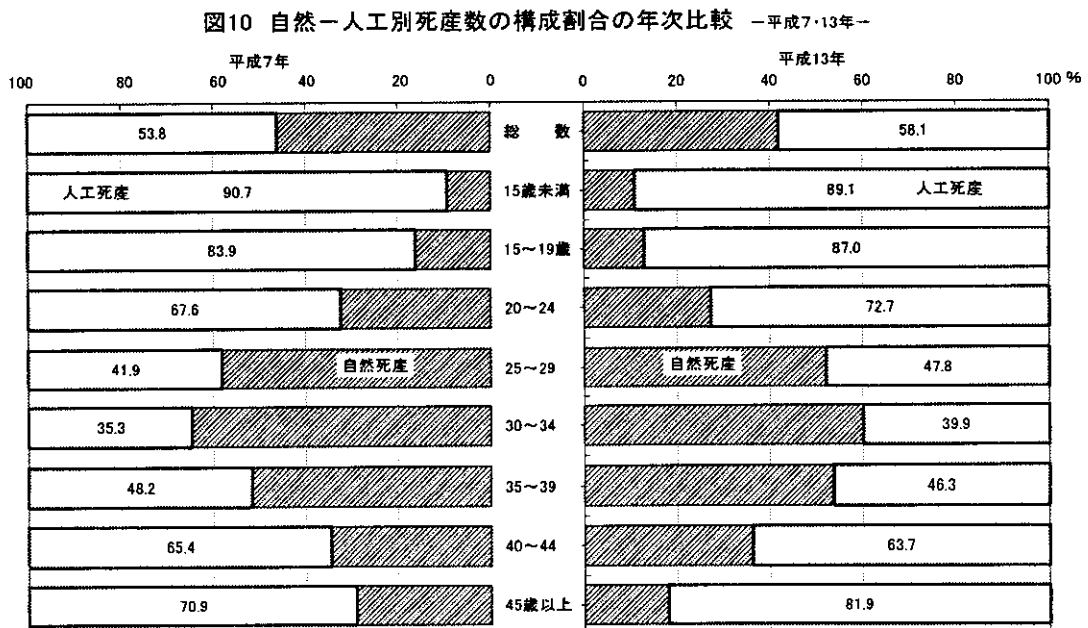
年次推移をみると、死産数は、昭和33年をピークに下降し、最近は4万胎前後で推移している。

死産率は、昭和41年の特殊な変動があるものの、昭和36年以降は、低下傾向であった。最近は31～32台で推移している。(図9)



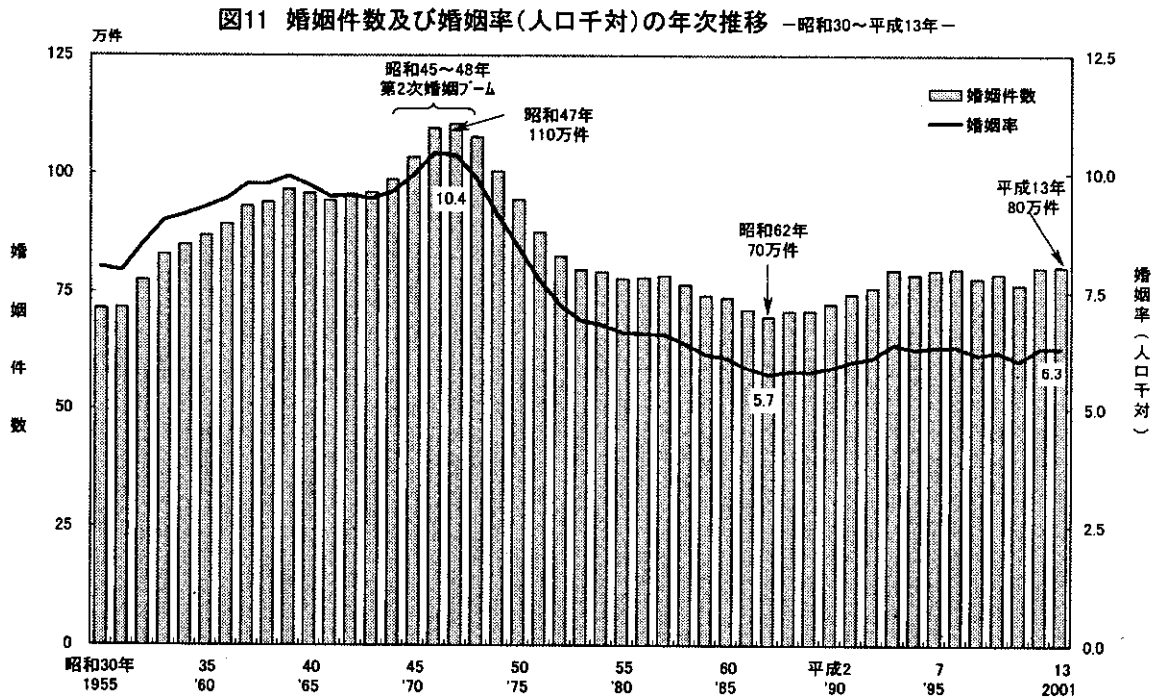
自然—人工別死産数の構成割合を母の年齢階級別にみると、平成7年と比べ13年は、ほとんどの年齢階級で人工死産の割合が増えている。特に「45歳以上」で顕著である。

(図10)



(5) 婚 姻

年次推移をみると、婚姻件数及び婚姻率は、昭和45～48年の「第2次婚姻ブーム」期以降急激に下降し、昭和62年を底にその後上昇した。平成5年以降は増減を繰り返し、婚姻件数は80万件前後、婚姻率は6.2～6.3で推移している。(図11)



初婚・再婚別婚姻件数の構成割合を年次推移でみると、夫妻ともに、初婚の割合が多く、妻に比べ夫の方が再婚の割合が多い。しかし、徐々に妻の再婚の割合が多くなり、昭和40年に4.3%だったものが、平成13年には12.4%と約3倍に増えている。(表3)

表3 初婚・再婚別にみた婚姻件数及び構成割合の年次推移 -昭和30～平成13年-

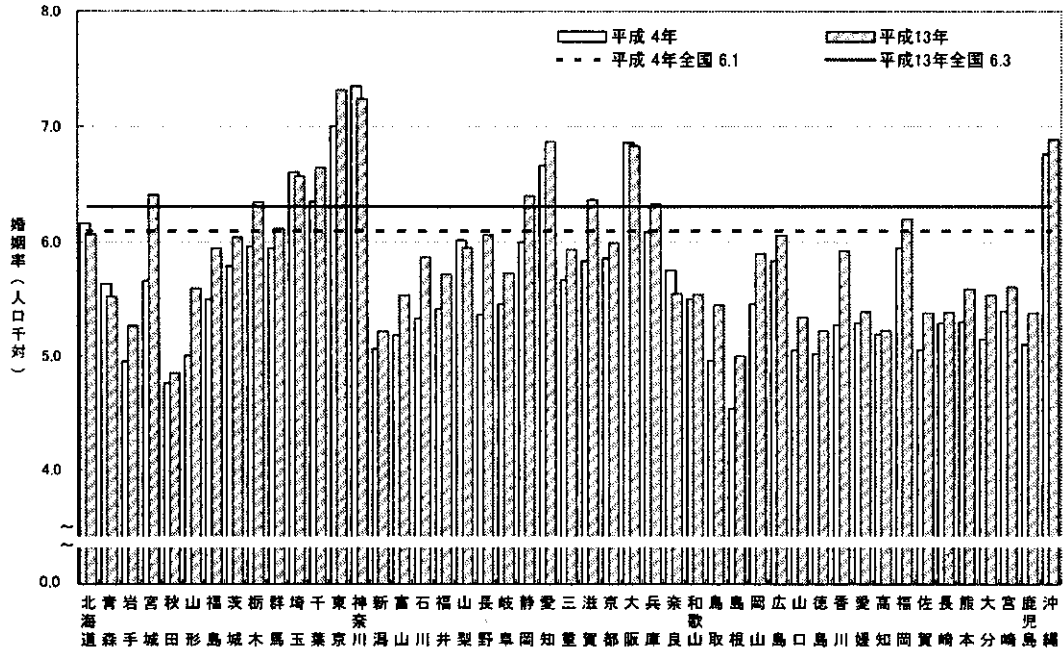
年次	婚姻件数							構成割合(%)			
	総数	各届出年に結婚生活に入ったもの						各届出年に結婚生活に入ったもの			
		総数	初婚		再婚		総数	初婚		再婚	
		夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻		
1955 昭和30年	716 028	438 600	393 775	411 609	44 824	26 990	100.0	89.8	93.8	10.2	6.2
60 35	868 744	581 130	535 091	554 752	46 039	26 378	100.0	92.1	95.5	7.9	4.5
65 40	958 902	722 117	670 957	690 719	51 160	31 398	100.0	92.9	95.7	7.1	4.3
70 45	1 033 952	858 003	802 124	820 847	55 879	37 156	100.0	93.5	95.7	6.5	4.3
75 50	945 976	832 605	772 507	786 165	60 098	46 440	100.0	92.8	94.4	7.2	5.6
80 55	778 624	697 464	637 084	646 304	60 380	51 160	100.0	91.3	92.7	8.7	7.3
85 60	739 002	670 001	603 855	612 662	66 146	57 339	100.0	90.1	91.4	9.9	8.6
90 平成2	725 727	656 160	583 943	594 615	72 217	61 545	100.0	89.0	90.6	11.0	9.4
95 7	795 323	718 965	637 199	649 069	81 766	69 896	100.0	88.6	90.3	11.4	9.7
96 8	798 394	723 011	640 296	651 960	82 715	71 051	100.0	88.6	90.2	11.4	9.8
97 9	778 950	701 037	618 795	629 437	82 242	71 600	100.0	88.3	89.8	11.7	10.2
98 10	787 921	711 275	625 603	636 573	85 672	74 702	100.0	88.0	89.5	12.0	10.5
99 11	765 268	687 755	601 337	612 584	86 418	75 171	100.0	87.4	89.1	12.6	10.9
2000 12	801 466	710 266	616 679	628 520	93 587	81 746	100.0	86.8	88.5	13.2	11.5
01 13	803 287	712 004	612 449	624 037	99 555	87 967	100.0	86.0	87.6	14.0	12.4

注：昭和30年の各届出年に結婚生活に入ったものの総数には、初婚・再婚不詳が夫妻各1含まれている。

都道府県別にみると、概ね大都市を有する都道府県では、婚姻率が高い。

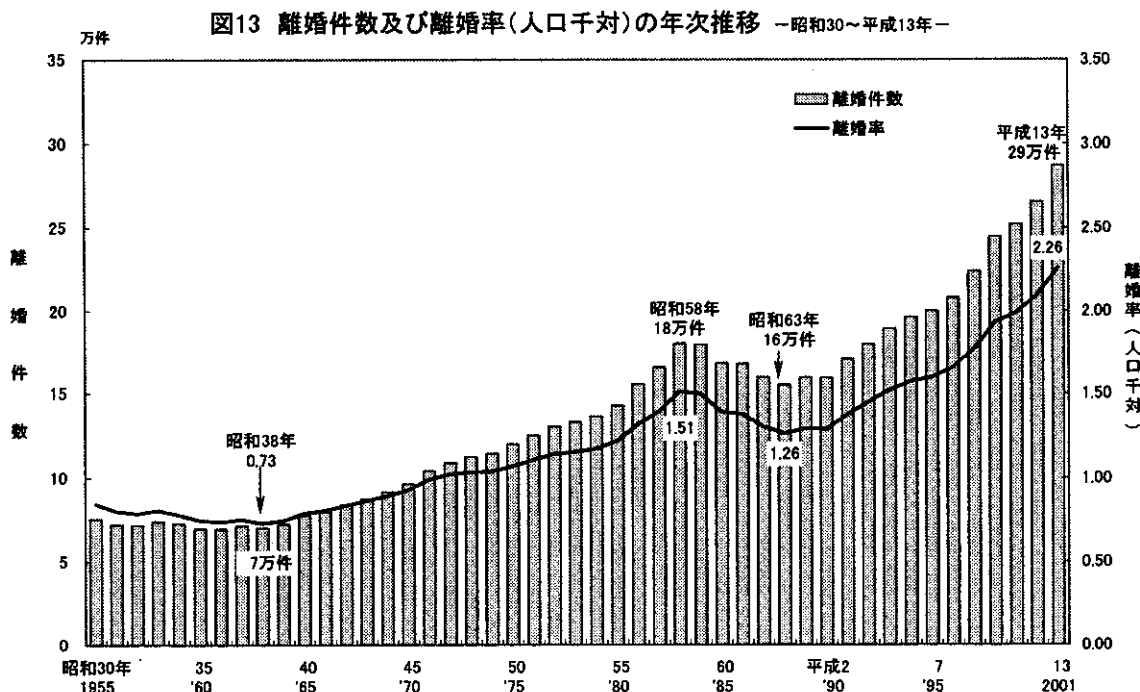
平成4年と13年を比較すると、ほとんどの都道府県で上昇し、全国では0.2ポイントとわずかに高くなっている。特に宮城県、長野県、香川県での上昇が目立つ。(図12)

図12 都道府県別婚姻率(人口千対)の年次比較 -平成4・13年-



(6) 離 婚

年次推移をみると、離婚件数及び離婚率は、昭和30年代は7万件前後、0.7～0.8で推移していたが、徐々に増加し、昭和58年には18万件、1.51まで増加した。その後減少したが、昭和63年から増加に転じ、特に、近年は急激に増加し、平成13年は29万件、2.26となり、件数、率ともに過去最高となっている。(図13)



離婚の種類別に年次推移をみると、総数が増加するにつれて、それぞれの件数も同様に増加している。昭和30年に比べ平成13年は、協議離婚が3.8倍、調停離婚が4.6倍と大幅に増えている。

構成割合をみると、協議離婚が全体の約9割を占めている。(表4)

表4 離婚の種類別にみた離婚件数及び構成割合の年次推移

-昭和30～平成13年-

年次	離婚件数					構成割合 (%)				
	総数	協議離婚	調停離婚	審判離婚	判決離婚	総数	協議離婚	調停離婚	審判離婚	判決離婚
1955 昭和30年	75 427	69 961	4 846	28	592	100.0	92.8	6.4	0.0	0.8
60 35	69 693	63 543	5 429	43	678	100.0	91.2	7.8	0.1	1.0
65 40	77 557	69 927	6 699	42	889	100.0	90.2	8.6	0.1	1.1
70 45	96 526	86 448	9 005	66	1 007	100.0	89.6	9.3	0.1	1.0
75 50	120 023	107 947	10 814	56	1 206	100.0	89.9	9.0	0.0	1.0
80 55	142 833	128 435	12 781	51	1 566	100.0	89.9	8.9	0.0	1.1
85 60	168 212	153 355	13 012	72	1 773	100.0	91.2	7.7	0.0	1.1
90 平成2	159 194	144 101	13 400	45	1 648	100.0	90.5	8.4	0.0	1.0
95 7	200 168	180 929	17 359	67	1 813	100.0	90.4	8.7	0.0	0.9
96 8	208 188	189 004	17 284	74	1 826	100.0	90.8	8.3	0.0	0.9
97 9	223 867	203 567	18 411	82	1 807	100.0	90.9	8.2	0.0	0.8
98 10	244 601	223 088	19 248	79	2 186	100.0	91.2	7.9	0.0	0.9
99 11	252 035	230 533	19 362	80	2 060	100.0	91.5	7.7	0.0	0.8
2000 12	265 752	243 093	20 315	90	2 254	100.0	91.5	7.6	0.0	0.8
01 13	287 483	263 077	22 055	85	2 266	100.0	91.5	7.7	0.0	0.8

3 統 計 表

第1表 人口動態総覧（実数），年次別 -昭和30～平成13年-

年次 ¹⁾	出生数 ²⁾			死亡数			乳児死亡		
	総数	日本における日本人	日本における外国人	総数	日本における日本人	日本における外国人	総数	日本における日本人	
1955	昭和30年	1 746 299	1 730 692	15 607	697 398	693 523	3 875	69 289	68 801
56	31	1 680 452	1 665 278	15 174	728 624	724 460	4 164	68 166	67 691
57	32	1 581 087	1 566 713	14 374	756 796	752 445	4 351	63 164	62 678
58	33	1 667 802	1 653 469	14 333	688 329	684 189	4 140	57 487	57 052
59	34	1 639 721	1 626 088	13 633	694 323	689 959	4 364	55 176	54 768
1960	35	1 619 175	1 606 041	13 134	710 737	706 599	4 138	49 637	49 293
61	36	1 602 181	1 589 372	12 809	699 488	695 644	3 844	45 771	45 465
62	37	1 631 417	1 618 616	12 801	714 059	710 265	3 794	43 090	42 797
63	38	1 672 531	1 659 521	13 010	674 440	670 770	3 670	38 683	38 442
64	39	1 730 439	1 716 761	13 678	676 787	673 067	3 720	35 199	34 967
65	40	1 837 476	1 823 697	13 779	704 100	700 438	3 662	33 958	33 742
66	41	1 371 649	1 360 974	10 675	674 139	670 342	3 797	26 418	26 217
67	42	1 949 846	1 935 647	14 199	678 782	675 006	3 776	29 153	28 928
68	43	1 884 511	1 871 839	12 672	689 968	686 555	3 413	28 760	28 600
69	44	1 903 149	1 889 815	13 334	697 298	693 787	3 511	27 046	26 874
1970	45	1 947 944	1 934 239	13 705	716 643	712 962	3 681	25 574	25 412
71	46	2 015 251	2 000 973	14 278	688 026	684 521	3 505	24 956	24 805
72	47	2 053 269	2 038 682	14 587	687 332	683 751	3 581	23 921	23 773
73	48	2 106 523	2 091 983	14 540	712 993	709 416	3 577	23 837	23 683
74	49	2 043 810	2 029 989	13 821	714 165	710 510	3 655	22 012	21 888
75	50	1 914 707	1 901 440	13 267	705 874	702 275	3 599	19 214	19 103
76	51	1 845 374	1 832 617	12 757	706 907	703 270	3 637	17 214	17 105
77	52	1 767 267	1 755 100	12 167	693 703	690 074	3 629	15 778	15 666
78	53	1 720 394	1 708 643	11 751	699 626	695 821	3 805	14 426	14 327
79	54	1 654 094	1 642 580	11 514	693 565	689 664	3 901	13 019	12 923
1980	55	1 588 632	1 576 889	11 743	726 632	722 801	3 831	11 918	11 841
81	56	1 540 666	1 529 455	11 211	724 200	720 262	3 938	10 981	10 891
82	57	1 526 912	1 515 392	11 520	715 916	711 883	4 033	10 047	9 969
83	58	1 520 338	1 508 687	11 651	744 056	740 038	4 018	9 488	9 406
84	59	1 501 569	1 489 780	11 789	744 312	740 247	4 065	8 985	8 920
85	60	1 437 375	1 431 577	5 798	756 440	752 283	4 157	7 959	7 899
86	61	1 388 878	1 382 946	5 932	754 767	750 620	4 147	7 289	7 251
87	62	1 354 232	1 346 658	7 574	755 286	751 172	4 114	6 750	6 711
88	63	1 321 619	1 314 006	7 613	797 472	793 014	4 458	6 317	6 265
89	平成元	1 253 981	1 246 802	7 179	793 014	788 594	4 420	5 763	5 724
1990	2	1 229 044	1 221 585	7 459	824 866	820 305	4 561	5 662	5 616
91	3	1 231 382	1 223 245	8 137	834 625	829 797	4 828	5 465	5 418
92	4	1 218 265	1 208 989	9 276	861 865	856 643	5 222	5 538	5 477
93	5	1 197 900	1 188 282	9 618	883 706	878 532	5 174	5 226	5 169
94	6	1 248 850	1 238 328	10 522	881 154	875 933	5 221	5 312	5 261
95	7	1 197 427	1 187 064	10 363	927 709	922 139	5 570	5 115	5 054
96	8	1 217 925	1 206 555	11 370	901 567	896 211	5 356	4 604	4 546
97	9	1 203 888	1 191 665	12 223	918 916	913 402	5 514	4 478	4 403
98	10	1 215 754	1 203 147	12 607	942 059	936 484	5 575	4 456	4 380
99	11	1 189 774	1 177 669	12 105	987 701	982 031	5 670	4 069	4 010
2000	12	1 202 761	1 190 547	12 214	967 195	961 653	5 542	3 889	3 830
01	13	1 182 499	1 170 662	11 837	976 008	970 331	5 677	3 649	3 599

注：1) 昭和47年までは、沖縄県を含まない。

2) 母が日本人で父が外国人の出生子は、昭和59年までは外国人であったが、昭和60年の国籍法の改正により日本人となった。

3) 平成6年以前は母の国籍であったが、それ以降は父母の国籍による。

数	死産数 ³⁾			婚姻件数			離婚件数		
	日本における 外国人	総数	日本における 日本人	日本における 外国人	総数	日本における 日本人	日本における 外国人	総数	日本における 日本人
488	184 381	183 265	1 116	716 028	714 861	1 167	75 427	75 267	160
475	180 028	179 007	1 021	717 642	715 934	1 708	72 248	72 040	208
486	177 414	176 353	1 061	775 486	773 362	2 124	71 828	71 651	177
435	186 219	185 148	1 071	829 328	826 902	2 426	74 215	74 004	211
408	182 862	181 893	969	849 895	847 135	2 760	72 706	72 455	251
344	180 245	179 281	964	868 744	866 115	2 629	69 693	69 410	283
306	180 784	179 895	889	893 008	890 158	2 850	69 598	69 323	275
293	178 276	177 363	913	931 854	928 341	3 513	71 674	71 394	280
241	176 284	175 424	860	940 978	937 516	3 462	70 267	69 996	271
232	168 900	168 046	854	966 846	963 130	3 716	72 614	72 306	308
216	162 450	161 617	833	958 902	954 852	4 050	77 557	77 195	362
201	149 000	148 248	752	943 849	940 120	3 729	79 850	79 432	418
225	150 167	149 389	778	957 190	953 096	4 094	83 926	83 478	448
160	143 937	143 259	678	960 546	956 312	4 234	87 807	87 327	480
172	139 873	139 211	662	988 267	984 142	4 125	91 807	91 280	527
162	135 794	135 095	699	1 033 952	1 029 405	4 547	96 526	95 937	589
151	131 562	130 920	642	1 095 852	1 091 229	4 623	104 253	103 595	658
148	125 875	125 154	721	1 104 511	1 099 984	4 527	109 132	108 382	750
154	116 800	116 171	629	1 076 527	1 071 923	4 604	112 623	111 877	746
124	110 379	109 738	641	1 005 161	1 000 455	4 706	114 514	113 622	892
111	102 423	101 862	561	945 976	941 628	4 348	120 023	119 135	888
109	102 507	101 930	577	875 570	871 543	4 027	125 410	124 512	898
112	95 842	95 247	595	825 002	821 029	3 973	130 445	129 485	960
99	88 029	87 463	566	796 903	793 257	3 646	133 111	132 146	965
96	82 927	82 311	616	792 301	788 505	3 796	136 338	135 250	1 088
77	78 062	77 446	616	778 624	774 702	3 922	142 833	141 689	1 144
90	79 799	79 222	577	780 430	776 531	3 899	155 417	154 221	1 196
78	78 729	78 107	622	784 854	781 252	3 602	165 402	163 980	1 422
82	72 565	71 941	624	766 062	762 552	3 510	180 638	179 150	1 488
65	73 036	72 361	675	743 308	739 991	3 317	180 179	178 746	1 433
60	69 661	69 009	652	739 002	735 850	3 152	168 212	166 640	1 572
38	66 462	65 678	784	714 168	710 962	3 206	167 455	166 054	1 401
39	64 692	63 834	858	699 163	696 173	2 990	159 667	158 227	1 440
52	60 467	59 636	831	710 924	707 716	3 208	155 058	153 600	1 458
39	56 114	55 204	910	711 783	708 316	3 467	159 351	157 811	1 540
46	54 885	53 892	993	725 727	722 138	3 589	159 194	157 608	1 586
47	51 626	50 510	1 116	746 532	742 264	4 268	170 527	168 969	1 558
61	50 206	48 896	1 310	758 728	754 441	4 287	180 356	179 191	1 165
57	46 433	45 090	1 343	796 726	792 658	4 068	189 473	188 297	1 176
51	44 224	42 962	1 262	786 420	782 738	3 682	196 280	195 106	1 174
61	40 252	39 403	849	795 323	791 888	3 435	200 168	199 016	1 152
58	40 370	39 536	834	798 394	795 080	3 314	208 188	206 955	1 233
75	40 384	39 546	838	778 950	775 651	3 299	223 867	222 635	1 232
76	39 803	38 988	815	787 921	784 595	3 326	244 601	243 183	1 418
59	39 252	38 452	800	765 268	762 028	3 240	252 035	250 529	1 506
59	39 153	38 393	760	801 466	798 138	3 328	265 752	264 246	1 506
50	38 235	37 467	768	803 287	799 999	3 288	287 483	285 911	1 572

第2表 人口動態総覧(率), 年次別 -昭和30~平成13年-

年次 ¹⁾	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	死産率 ²⁾ (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	総人口
1955 * 昭和30年	19.6	7.8	39.7	95.5	8.0	0.84	89 275 529
56 31	18.6	8.1	40.6	96.8	8.0	0.80	90 259 000
57 32	17.4	8.3	39.9	100.9	8.5	0.79	91 088 000
58 33	18.1	7.5	34.5	100.4	9.0	0.81	92 010 000
59 34	17.6	7.5	33.6	100.3	9.1	0.78	92 971 000
1960 * 35	17.3	7.6	30.7	100.2	9.3	0.75	93 418 501
61 36	17.0	7.4	28.6	101.4	9.5	0.74	94 285 000
62 37	17.1	7.5	26.4	98.5	9.8	0.75	95 178 000
63 38	17.4	7.0	23.1	95.3	9.8	0.73	96 156 000
64 39	17.8	7.0	20.3	88.9	9.9	0.75	97 186 000
65 * 40	18.7	7.2	18.5	81.2	9.8	0.79	98 274 961
66 41	13.8	6.8	19.3	98.0	9.5	0.81	99 056 000
67 42	19.5	6.8	15.0	71.5	9.5	0.84	100 243 000
68 43	18.6	6.8	15.3	71.0	9.5	0.87	101 408 000
69 44	18.5	6.8	14.2	68.5	9.6	0.89	102 648 000
1970 * 45	18.8	6.9	13.1	65.2	10.0	0.93	103 720 060
71 46	19.2	6.6	12.4	61.3	10.4	0.99	105 006 000
72 47	19.3	6.5	11.7	57.8	10.4	1.03	106 363 000
73 48	19.4	6.6	11.3	52.5	9.9	1.04	108 710 000
74 49	18.6	6.5	10.8	51.2	9.1	1.04	110 049 000
75 * 50	17.1	6.3	10.0	50.8	8.5	1.07	111 939 643
76 51	16.3	6.3	9.3	52.6	7.7	1.11	113 089 000
77 52	15.5	6.1	8.9	51.4	7.2	1.14	114 154 000
78 53	14.9	6.1	8.4	48.7	6.9	1.16	115 174 000
79 54	14.2	6.0	7.9	47.7	6.8	1.17	116 133 000
1980 * 55	13.6	6.2	7.5	46.8	6.7	1.22	117 060 396
81 56	13.1	6.1	7.1	49.2	6.6	1.32	117 884 000
82 57	12.9	6.0	6.6	49.0	6.6	1.39	118 693 000
83 58	12.7	6.2	6.2	45.6	6.4	1.51	119 483 000
84 59	12.5	6.2	6.0	46.4	6.2	1.50	120 235 000
85 * 60	11.9	6.2	5.5	46.2	6.1	1.39	121 048 923
86 61	11.4	6.2	5.2	45.7	5.9	1.38	121 672 000
87 62	11.1	6.2	5.0	45.6	5.7	1.31	122 264 000
88 63	10.8	6.5	4.8	43.8	5.8	1.26	122 783 000
89 平成元	10.2	6.4	4.6	42.8	5.8	1.29	123 255 000
1990 * 2	9.9	6.7	4.6	42.7	5.9	1.29	123 611 167
91 3	9.9	6.7	4.4	40.2	6.0	1.37	124 043 000
92 4	9.8	6.9	4.5	39.6	6.1	1.45	124 452 000
93 5	9.6	7.1	4.4	37.3	6.4	1.52	124 764 000
94 6	10.0	7.0	4.3	34.2	6.3	1.57	125 034 000
95 * 7	9.5	7.4	4.3	32.5	6.3	1.59	125 570 246
96 8	9.7	7.2	3.8	32.1	6.3	1.65	125 864 000
97 9	9.5	7.3	3.7	32.5	6.2	1.77	126 166 000
98 10	9.6	7.4	3.7	31.7	6.2	1.93	126 486 000
99 11	9.4	7.8	3.4	31.9	6.0	1.99	126 686 000
2000 * 12	9.5	7.6	3.2	31.5	6.3	2.09	126 925 843
01 13	9.3	7.7	3.1	31.3	6.3	2.26	127 291 000

注: 1) 昭和47年までは沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。

資料: *印は総務省統計局「国勢調査」、その他は「各年10月1日現在推計人口」による。

第3表 人口動態総覧¹⁾，都道府県(13大都市再掲)別 -平成13年-

都道府県 ²⁾	出生		死亡		婚姻		総人口
	出生数	出生率 (人口千対)	死亡数	死亡率 (人口千対)	婚姻件数	婚姻率 (人口千対)	
全 国	1 182 499	9.3	976 008	7.7	803 287	6.3	127 291 000
01 北海道	46 323	8.2	43 713	7.7	34 441	6.1	5 679 000
02 青森	12 898	8.8	13 294	9.0	8 146	5.5	1 474 000
03 岩手	12 296	8.7	13 048	9.2	7 448	5.3	1 413 000
04 宮城	21 818	9.2	17 341	7.3	15 203	6.4	2 371 000
05 秋田	8 880	7.5	11 878	10.0	5 744	4.9	1 184 000
06 山形	10 933	8.8	12 069	9.7	6 950	5.6	1 241 000
07 福島	20 066	9.4	19 037	9.0	12 632	5.9	2 125 000
08 茨城	28 193	9.4	23 133	7.7	18 077	6.0	2 992 000
09 栃木	19 134	9.5	15 742	7.8	12 760	6.3	2 010 000
10 群馬	19 464	9.6	16 208	8.0	12 425	6.1	2 031 000
11 埼玉	66 023	9.5	41 609	6.0	45 857	6.6	6 978 000
12 千葉	55 078	9.2	37 969	6.4	39 635	6.6	5 968 000
13 東京都	100 350	8.3	85 253	7.0	88 923	7.3	12 138 000
14 神奈川県	82 841	9.7	52 215	6.1	62 089	7.2	8 570 000
15 新潟	21 347	8.6	22 290	9.0	12 908	5.2	2 473 000
16 富山	10 066	9.0	9 793	8.7	6 213	5.5	1 121 000
17 石川	11 404	9.6	9 465	8.0	6 935	5.9	1 182 000
18 福井	8 029	9.7	6 883	8.3	4 747	5.7	830 000
19 山梨	8 254	9.3	7 558	8.5	5 296	6.0	890 000
20 長野	21 264	9.6	19 423	8.7	13 475	6.1	2 223 000
21 岐阜	19 888	9.4	16 612	7.9	12 098	5.7	2 111 000
22 静岡県	35 891	9.5	29 004	7.7	24 217	6.4	3 781 000
23 愛知	74 412	10.5	46 910	6.6	48 659	6.9	7 087 000
24 三重	17 473	9.4	15 140	8.1	11 043	5.9	1 861 000
25 滋賀	14 217	10.5	9 460	7.0	8 620	6.4	1 353 000
26 京都	23 624	8.9	20 330	7.7	15 855	6.0	2 646 000
27 大阪府	87 097	9.9	62 964	7.1	60 218	6.8	8 818 000
28 兵庫県	53 111	9.5	42 708	7.7	35 285	6.3	5 571 000
29 奈良	12 827	8.9	10 480	7.3	8 007	5.6	1 442 000
30 和歌山	9 373	8.8	10 334	9.7	5 913	5.5	1 066 000
31 鳥取	5 603	9.1	5 840	9.5	3 345	5.5	613 000
32 島根	6 658	8.7	7 679	10.1	3 805	5.0	761 000
33 岡山	18 877	9.7	17 050	8.7	11 520	5.9	1 953 000
34 広島	27 515	9.6	23 562	8.2	17 435	6.1	2 879 000
35 山口	13 049	8.6	15 080	9.9	8 151	5.3	1 524 000
36 徳島	7 051	8.6	7 982	9.7	4 296	5.2	822 000
37 香川	9 505	9.3	9 180	9.0	6 054	5.9	1 022 000
38 愛媛	13 034	8.7	14 007	9.4	8 047	5.4	1 491 000
39 高知	6 747	8.3	8 322	10.2	4 251	5.2	813 000
40 福岡	47 203	9.4	38 840	7.7	31 206	6.2	5 032 000
41 佐賀	8 579	9.8	7 834	8.9	4 719	5.4	876 000
42 長崎	13 816	9.1	13 466	8.9	8 157	5.4	1 513 000
43 熊本	16 984	9.1	16 030	8.6	10 405	5.6	1 860 000
44 大分	10 906	8.9	11 086	9.1	6 762	5.5	1 221 000
45 宮崎	11 024	9.4	10 240	8.8	6 562	5.6	1 169 000
46 鹿児島	15 969	9.0	17 455	9.8	9 602	5.4	1 783 000
47 沖縄	17 203	12.9	8 159	6.1	9 151	6.9	1 329 000
外 国	202	.	160
不 詳	.	.	2 173
13大都市(再掲)							
50 東京都区部	65 875	8.0	60 348	7.4	63 463	7.7	8 210 000
51 札幌市	15 367	8.4	10 837	5.9	12 439	6.8	1 834 000
52 仙台市	10 101	10.0	5 481	5.4	7 569	7.5	1 014 000
53 千葉市	8 513	9.5	5 011	5.6	6 209	6.9	896 000
54 横浜市	33 573	9.7	20 681	6.0	25 379	7.3	3 462 000
55 川崎市	13 851	10.9	7 160	5.7	11 302	8.9	1 267 000
56 名古屋市	20 724	9.5	15 508	7.1	15 200	7.0	2 177 000
57 京都市	12 719	8.7	11 282	7.7	9 335	6.4	1 468 000
58 大阪市	24 723	9.5	22 244	8.5	19 620	7.5	2 609 000
59 神戸市	13 069	8.7	11 298	7.5	9 862	6.6	1 503 000
60 広島市	11 796	10.4	7 283	6.4	7 851	6.9	1 130 000
61 北九州市	9 074	9.0	8 579	8.5	6 032	6.0	1 009 000
62 福岡市	13 324	9.8	7 947	5.9	10 019	7.4	1 354 000

注：1) 乳児死亡・死産・離婚については、日本における外国人の都道府県別の数値を集計していないため、日本における日本人と合算した数値を計上していない。

2) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、婚姻は夫の住所による。

資料：都道府県は総務省統計局「平成13年10月1日現在推計人口」、13大都市は各指定都市及び東京都が推計した平成13年10月1日現在の人口である。

第4表 死亡数，性・3大死因・年次別 --昭和30～平成13年--

年次 ¹⁾	総数				男				女				
	総数 ²⁾	悪性 新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管 疾患	総数	悪性 新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管 疾患	総数	悪性 新生物	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管 疾患	
1955	昭和30年	697 398	78 105	54 573	121 895	367 936	41 498	27 427	63 020	329 462	36 607	27 146	58 875
56	31	728 624	82 342	59 784	134 390	384 333	43 959	30 159	69 760	344 291	38 383	29 625	64 630
57	32	756 796	83 618	66 853	138 659	400 601	45 133	34 225	73 171	356 195	38 485	32 628	65 488
58	33	688 329	88 361	59 854	137 258	366 608	47 589	30 542	72 032	321 721	40 772	29 312	65 226
59	34	694 323	91 881	63 230	143 402	370 622	49 656	32 305	75 562	323 674	42 225	30 925	67 840
1960	35	710 737	94 322	68 681	150 709	380 535	51 296	34 951	79 401	330 202	43 026	33 730	71 308
61	36	699 488	97 008	68 280	156 532	374 632	52 659	34 509	83 210	324 856	44 349	33 771	73 322
62	37	714 059	98 818	72 760	161 790	383 596	53 927	37 412	86 291	330 463	44 891	35 348	75 499
63	38	674 440	102 026	67 915	165 447	364 130	55 993	34 766	88 415	310 310	46 033	33 149	77 032
64	39	676 787	104 951	68 606	167 471	366 260	58 160	35 186	89 460	310 527	46 791	33 420	78 011
65	40	704 100	107 160	75 973	173 390	381 359	59 353	39 023	93 177	322 741	47 807	36 950	80 213
66	41	674 139	110 464	71 475	172 799	366 173	61 290	36 814	92 535	307 966	49 174	34 661	80 264
67	42	678 782	113 266	75 777	173 081	368 855	62 818	39 151	92 483	309 927	50 448	36 626	80 598
68	43	689 968	115 949	81 126	175 354	375 509	64 620	41 957	94 118	314 459	51 329	39 169	81 236
69	44	697 298	119 218	83 663	178 511	382 080	66 741	43 529	96 056	315 218	52 477	40 134	82 455
1970	45	716 643	120 705	89 759	181 919	390 570	67 596	46 232	97 356	326 073	53 109	43 527	84 563
71	46	688 026	123 512	85 883	177 539	375 501	68 876	44 628	94 824	312 525	54 636	41 255	82 715
72	47	687 332	128 023	86 239	176 854	375 400	71 820	44 438	93 718	311 932	56 203	41 801	83 136
73	48	712 993	131 634	94 687	180 984	386 125	73 881	48 532	94 760	326 868	57 753	46 155	86 224
74	49	714 165	134 518	98 681	178 979	384 470	76 035	49 941	93 033	329 695	58 483	48 740	85 946
75	50	705 874	137 191	99 649	174 995	380 355	77 525	50 665	90 341	325 519	59 666	48 984	84 654
76	51	706 907	141 715	104 091	174 386	381 207	80 586	52 953	89 626	325 700	61 129	51 138	84 760
77	52	693 703	146 630	104 026	170 673	374 753	83 727	53 381	87 238	318 950	62 903	50 645	83 435
78	53	699 626	151 248	107 278	168 145	378 272	86 288	54 961	85 763	321 354	64 960	52 317	82 382
79	54	693 565	157 600	112 462	159 627	375 882	90 789	58 404	80 541	317 683	66 811	54 058	79 086
1980	55	726 632	162 750	124 072	162 952	393 330	94 239	64 470	82 049	333 302	68 511	59 602	80 903
81	56	724 200	167 395	126 612	158 040	391 253	97 203	64 673	78 942	332 947	70 192	61 939	79 098
82	57	715 916	171 213	126 520	148 155	388 188	99 886	64 946	73 576	327 728	71 327	61 574	74 579
83	58	744 056	177 264	132 853	146 473	403 945	104 095	67 802	71 978	340 111	73 169	65 051	74 495
84	59	744 312	183 349	136 818	140 713	405 001	107 964	69 976	68 628	339 311	75 385	66 842	72 085
85	60	756 440	188 868	141 779	135 573	410 515	111 474	72 174	65 623	345 925	77 394	69 605	69 950
86	61	754 767	192 859	143 249	129 824	409 697	114 449	72 467	62 144	345 070	78 410	70 782	67 680
87	62	755 286	200 750	144 602	124 156	410 855	120 044	72 976	59 059	344 431	80 706	71 626	65 097
88	63	797 472	206 768	158 696	129 281	430 975	122 914	79 105	61 164	366 497	83 854	79 591	68 117
89	平成元	793 014	213 913	157 626	121 192	429 999	128 115	78 386	57 229	363 015	85 798	79 240	63 963
1990	2	824 866	218 709	166 331	122 468	446 679	131 302	82 280	57 916	378 187	87 407	84 051	64 552
91	3	834 625	225 060	169 791	119 005	453 422	135 384	84 189	56 059	381 203	89 676	85 602	62 946
92	4	861 865	233 371	176 511	118 640	468 871	140 652	86 962	55 746	392 994	92 719	89 549	62 894
93	5	883 706	237 138	181 226	119 393	479 742	143 192	88 843	55 597	403 964	93 946	92 383	63 796
94	6	881 154	245 134	160 477	120 805	479 476	147 906	79 426	55 826	401 678	97 228	81 051	64 979
95	7	927 709	264 581	140 008	147 267	504 803	160 682	70 202	69 998	422 906	103 899	69 806	77 269
96	8	901 567	272 816	139 023	141 113	491 995	165 953	69 467	66 882	409 572	106 863	69 556	74 231
97	9	918 916	277 056	140 945	139 427	501 283	168 191	70 229	66 207	417 633	108 865	70 716	73 220
98	10	942 059	285 514	143 944	138 522	515 619	173 340	71 618	65 930	426 440	112 174	72 326	72 592
99	11	987 701	292 227	151 904	139 638	538 308	176 880	74 450	66 799	449 393	115 347	77 454	72 839
2000	12	967 195	297 200	147 569	133 170	529 314	180 241	72 637	63 465	437 881	116 959	74 932	69 705
01	13	976 008	302 343	149 157	132 511	532 305	182 503	73 227	63 801	443 703	119 840	75 930	69 016

注：1) 昭和47年までは沖縄県を含まない。
2) 昭和34年の総数には、性別不詳27が含まれている。